

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ルピナスいせはら		公表日		2026年 3月 28日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		室内での活動や遊びについては安全に配慮して療育を行っている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		基本の人員配置数を厳守し、ご利用人数に合わせた人員配置を心がけています。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		バリアフリー設計となっている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日清掃を行なっております。これからも清潔で、心地よく過ごせる環境をつくるために努めます		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		クールダウンが必要な場合、カーテンで仕切り、クールダウンができる空間を作ったり、場合によっては事務室を利用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		目標設定や振り返りは、なるべく職員全員が参加し、同じ方向を見て支援ができるように意識をしている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表を一年に一回行い、いただいたご意見をもとに業務改善に努めている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		ミーティングを頻繁に実施し、お互いの意見交換の場から業務改善に繋がるように努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	第三者による外部評価は現在実施していない	第三者による外部評価に関しては会社として、前向きに検討してまいります	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		スキルアップのための研修が定期的に設けられている。	職員が希望する研修を受けやすくする環境づくりに努め、スキルアップに繋げていきたいと考えております。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		年度ごとに支援プログラムを作成し、常にアップデートしております		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		頻繁に情報共有の場を設定し、ニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画の作成を行うように意識している		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		その都度モニタリングや支援会議を実施し、多くの職員で子どもの最善の利益を考慮した内容の検討を行っている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		個別支援計画は共有できる状態にある。また加えてミーティング等を頻繁に行う事で計画に沿った支援を旨としている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		日々の行動観察などインフォーマルなアセスメントを大切に、個別支援計画に生かしている		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		「本人支援」は5領域を意識した作成を行っている。また「家族支援」等も意識して個別支援計画を作成している。	それぞれの支援を意識しているが、「家族支援」「移行支援」「地域連携」についてはもっと濃厚なものにできるように努めていきたい	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員全員で活動プログラムについて話し合いをし立案、運営をしている。		

支 援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		職員間で様々な意見を出し合い、固定化しない様々なプログラムを用意している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		活動によって、個別活動と小集団活動を上手く組み合わせ、効果的な支援を目標としている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に打合せを行ない、支援目標や本日のプログラムや留意点等について確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	2	送迎後時間を設け、その日の支援等についての情報共有の場を設けている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		支援に関する記録は適切に行い、支援の検証・改善に繋がるように努めている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリング会議を行い、個別支援計画の適切な見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6		4つの基本活動を複数組み合わせ合わせた活動を意識し、プログラム編成を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		自己選択や自己決定をする力を育むために様々な方法を試し、その児童に合った方法を見つけるような支援を行っている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		対象の児童の状況を理解した児童発達支援管理責任者が基本的には参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		相談支援事業所やその他事業所と必要に応じて連絡を取り合った連携体制を構築している。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校との情報交換や連絡調整は必要に応じて実施している	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	情報交換をし、移行支援についての助けとなる様に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1	開所して間もないため行っていないが準備は行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6		児童発達支援センターとのつながりは持つようにはしている。	児童発達支援センターとの連携をもっと強くし、支援に生かしていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		伊勢原FCフォレストとの合同イベントを通し、事業所外の子どもたちと活動する機会がある。	インクルーシブを意識した活動につながるよう地域イベント等に積極的に参加できるように企画等をしていきたい
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		伊勢原市主催の協議会等へ積極的に参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時に申し送りでの日の活動や様子について伝達を行なっている。必要時は児童発達支援管理責任者等が電話で状況説明をしたり、相談に乗るようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3		「ペアレントトレーニング」は実施できていない。今後、家族支援プログラムを行い、保護者様の助けになるような支援を提供したいと考えております
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明を行っている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		日頃からコミュニケーションを取ることを大切にし、利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達はスムーズに行くようにこれからも配慮してまいります	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		交付時に説明を行い、同意を得ている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要時には相談の機会を設け、相談、助言を行なうようにしています。また来所されなくても電話等における相談、助言も随時受け付けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	4	現状、保護者会等は設けることが出来ていない。	保護者会等の開催は前向きに検討させていただきます
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		ご意見等については職員間で協議し、次に繋がります。苦情に関してはすみやかに保護者の方への説明の場を設け対応している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		ルピナス通信やInstagramにて日頃の様子等を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報保護法にのっとった適切な取扱いを意識しております	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		日頃からコミュニケーションを取ることを大切にし、利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達はスムーズに行くようにこれからも配慮してまいります	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2	事業所行事に地域住民を招待することはできていない。	今後、高森子育てプロジェクトの一つとして実施できればと考えております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルを策定しております。また定期的に訓練も行っております	定期的に周知の機会を設けたいと考えております
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		・自然災害及び感染症蔓延時の業務継続計画（BCP）を策定している。 ・それぞれ定期的（年2回）に訓練を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者としっかりと情報共有を行い、対応方法についても確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		現在対象者がいない。	対象の方がいる場合には、どのように対応したらよいかを保護者からだけでなく、意思の指示書による対応をとっていきたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画は年度ごとに作成し、研修も実施している	研修の質を高め、全職員が理解し、安心安全な環境づくりに努めたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全確保に関する内容は契約時等にお知らせしております	定期的に周知の機会を設けたいと考えております
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	2	ミーティング時にヒヤリハットがないか聞く機会を設け、打合せ外でも気になるところがあれば共有するようにしている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年2回以上虐待防止研修及び身体拘束等適正化研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		契約時、面談時等に説明し、同意を得ている		